

地域猫活動地域のアンケート調査結果概要

1 調査概要

(1) 活動者へのアンケート調査

- ・ 調査期間：平成27年7月～12月

- ・ 調査地域：27地域
※当初30地域を予定していたが、代表者に連絡がつかないなどの理由により3地域の調査が実施できなかった。

- ・ 調査方法：活動代表者等への聞き取り

- ・ 調査結果・・・別紙1
全体の傾向として活動により猫の数が減り、活動して良かったとの回答が多かった。
しかし、活動の内容については、置きエサやトイレの管理がされていないなどルールが守られていない地域も認められた。
市の支援について、手術支援期間の延長や猫の運搬に対する要望が多かった。

(2) 地域住民へのアンケート

- ・ 調査期間：平成27年8月～11月

- ・ 調査地域：29地域

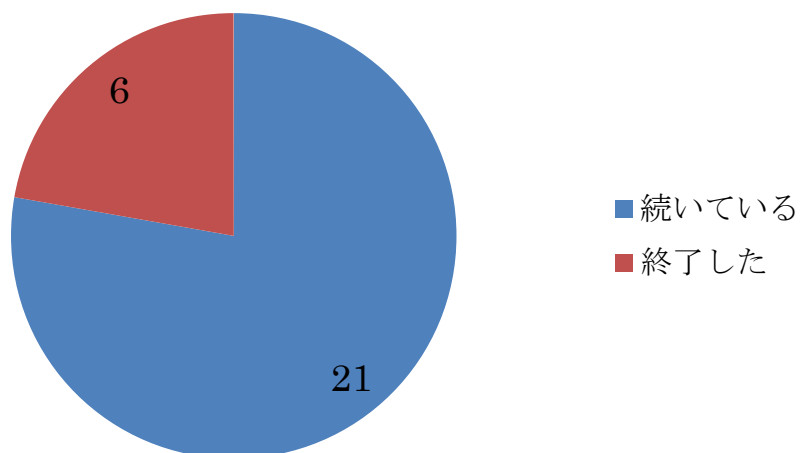
- ・ 調査方法：活動地域内の戸建て住宅に調査票をポストイング（1地域約50件）し、回答後返信用封筒により返送。

- ・ 調査票の回収結果：ポストイング数1,238票、回収数513票、回収率41.4%

- ・ 調査結果・・・別紙2
地域猫活動が始まる以前に、猫で困っていた住民が多く、その内容は糞尿、ごみ荒らし、子猫の出産などであった。地域猫活動により猫の数が減り、今後も地域猫活動を続けるべきとの意見が多かったが、活動に参加したことがある、あるいは参加したいという住民は少なかった。

活動者アンケート結果

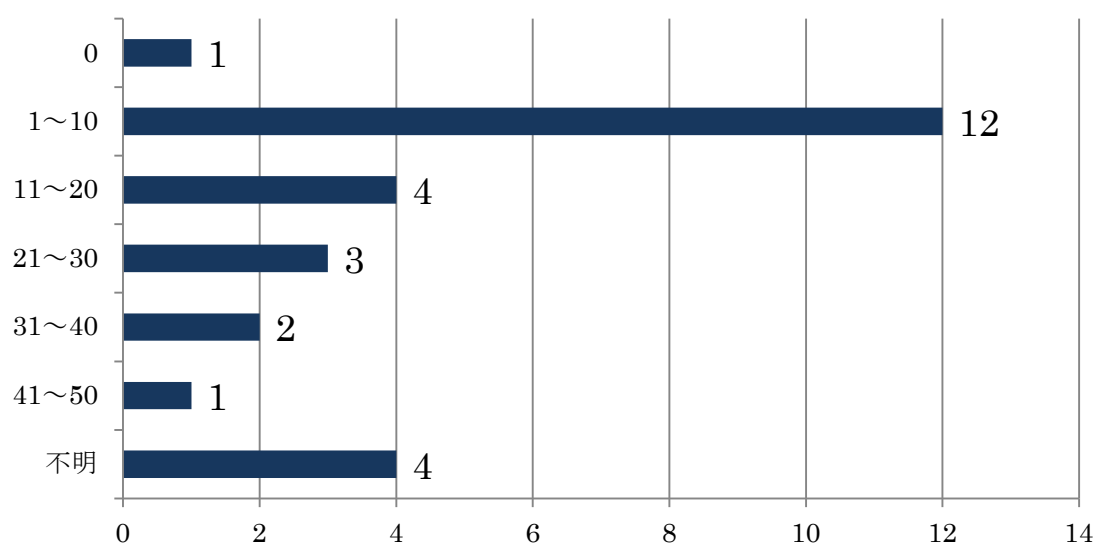
問1 活動状況について



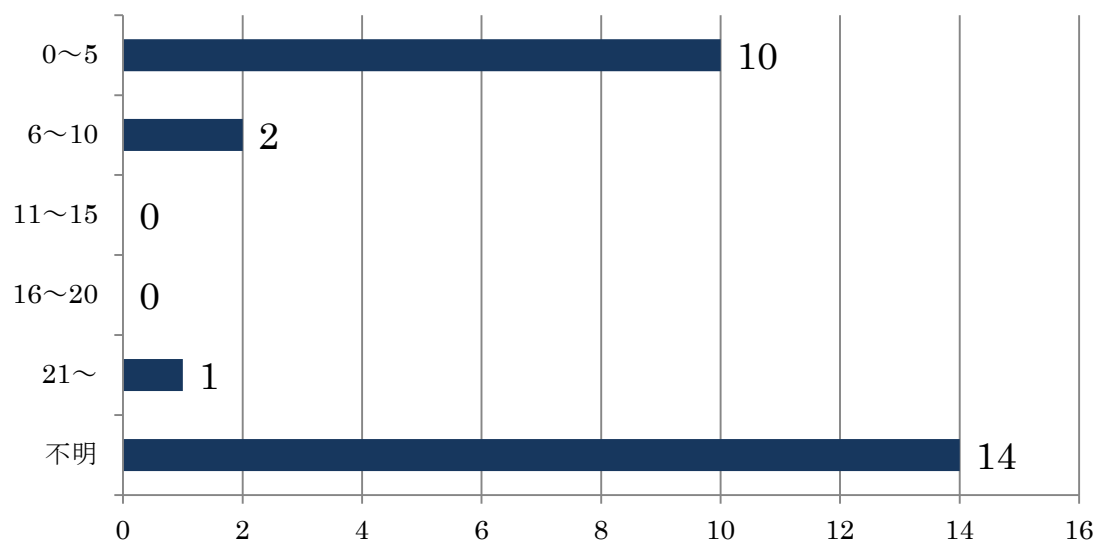
問2 活動当初の目的

- ・猫が増えないように : 14
 - ・糞尿被害 : 13
 - ・無責任なエサやり : 5
 - ・路上死体の減少
 - ・虐待防止
 - ・公園美化
- など

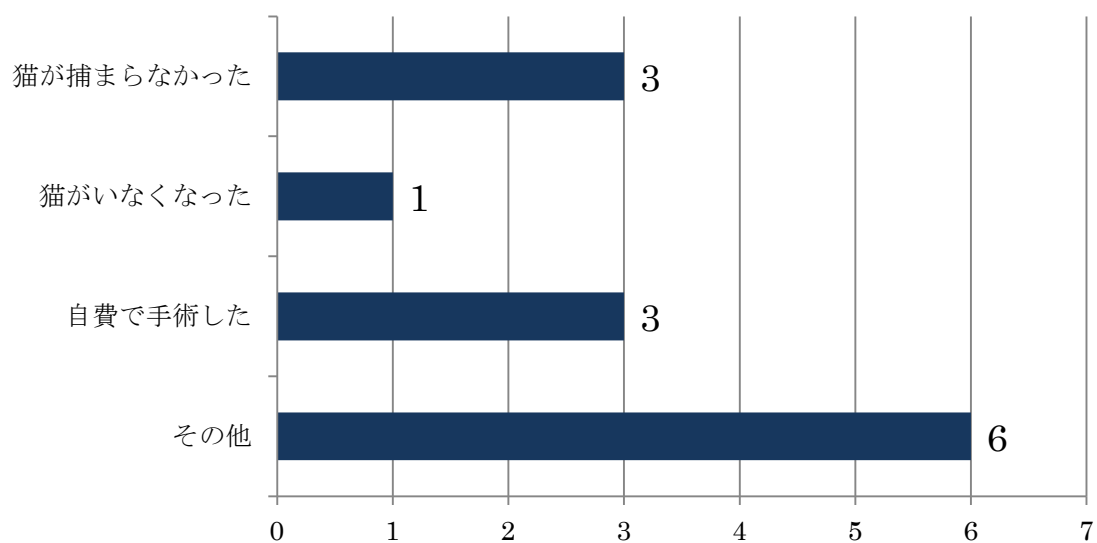
問3-1 現在管理している手術済頭数



問3-2 現在管理している未手術頭数



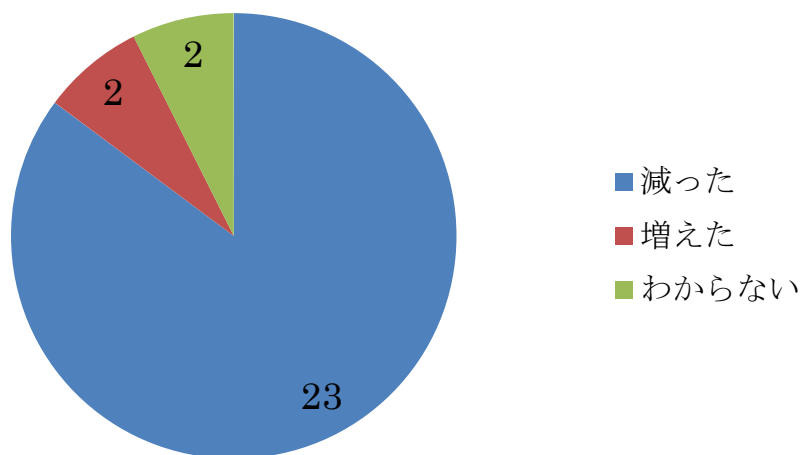
問3-3 当初の手術予定頭数に満たなかった理由



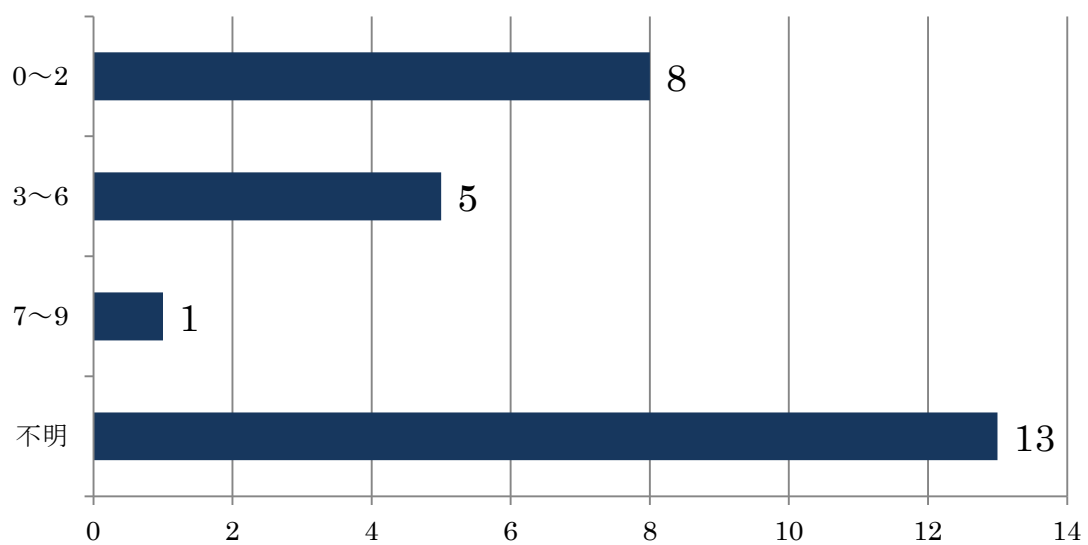
【その他の具体例】

- ・ 猫の体調不良
- ・ 活動を理解しない人による捕獲の妨害
- ・ 手術の予約が取れなかった
- ・ 搬入場所が遠かった
- ・ 詳細な事前調査を行っていなかった
- ・ 交通事故や虐待疑いによる数減少

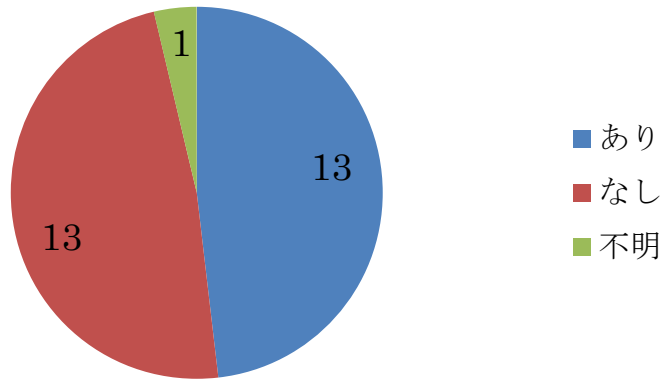
問3-4 当初と比べての猫の数



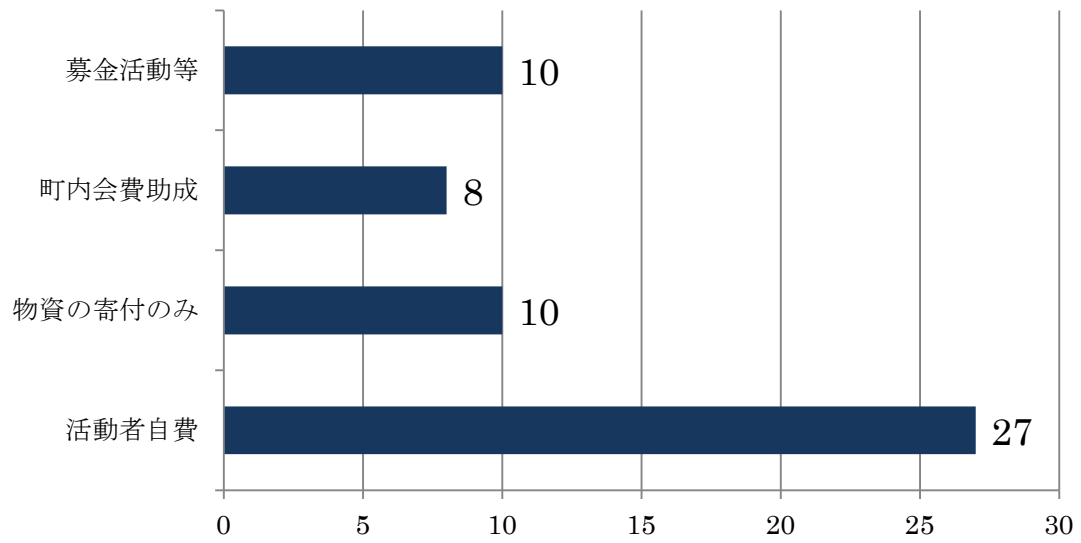
問3-5 他地区からの流入頭数



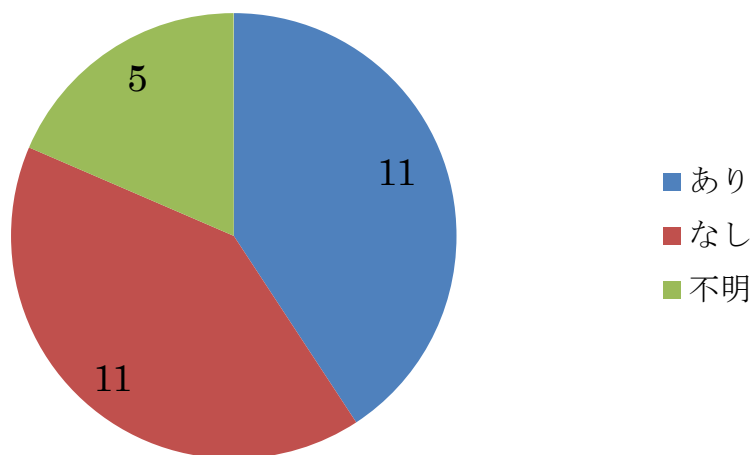
問4 譲渡活動について



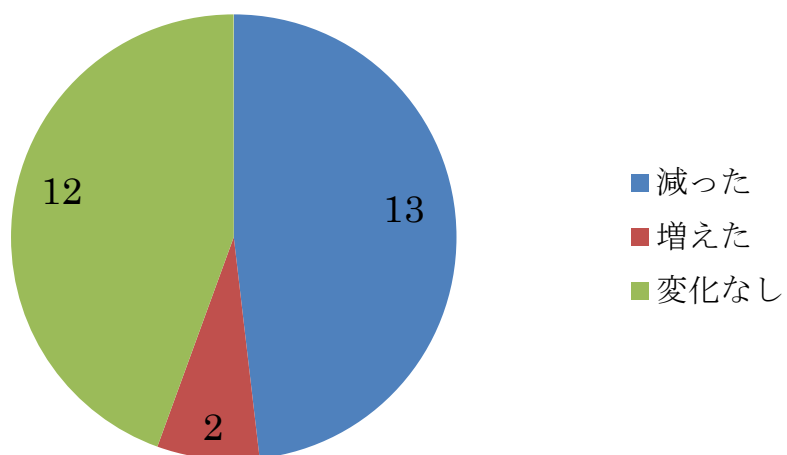
問5 活動経費について



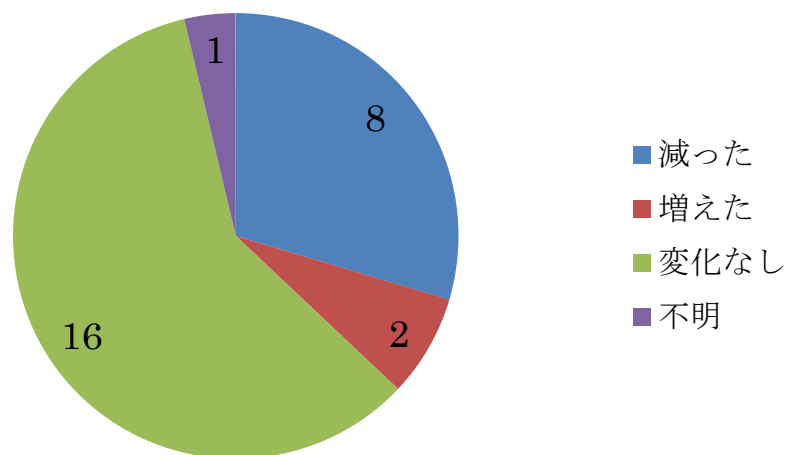
問6-1 置き餌の有無



問6-2 当初と比べてのトイレの数



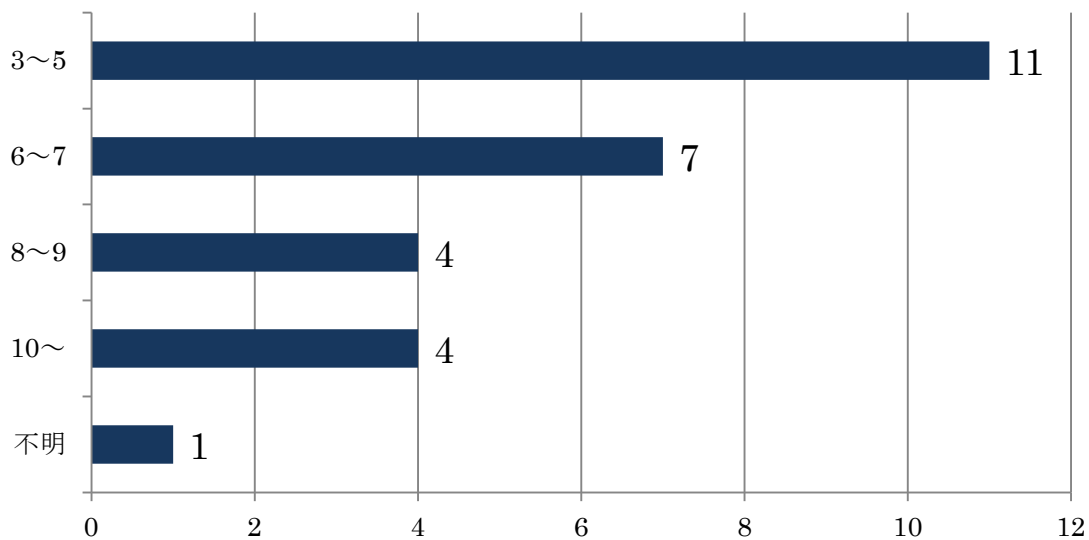
問6-3 当初と比べてのエサ場の数



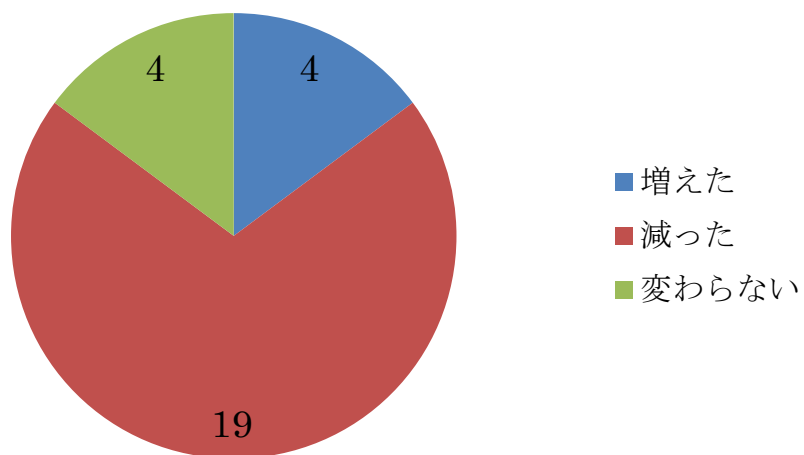
問6-4 問6-2, 3に対する理由及び問題点

- ・ トイレとして周辺の田畑を利用
- ・ 活動者が転居, 死亡
- ・ 活動（手術支援）終了を持ってトイレの管理終了
- ・ 嫌がらせで破壊された
- ・ エサやり担当者がルールを守らない
- ・ 活動場所横の住人が猫嫌い
- ・ 途中で活動への理解を得られなくなった

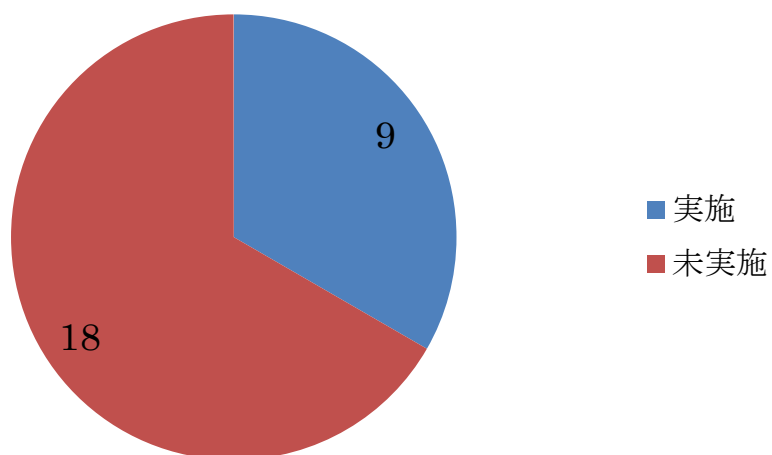
問7-1 当初の活動者数



問7-2 当初と比べての活動者数

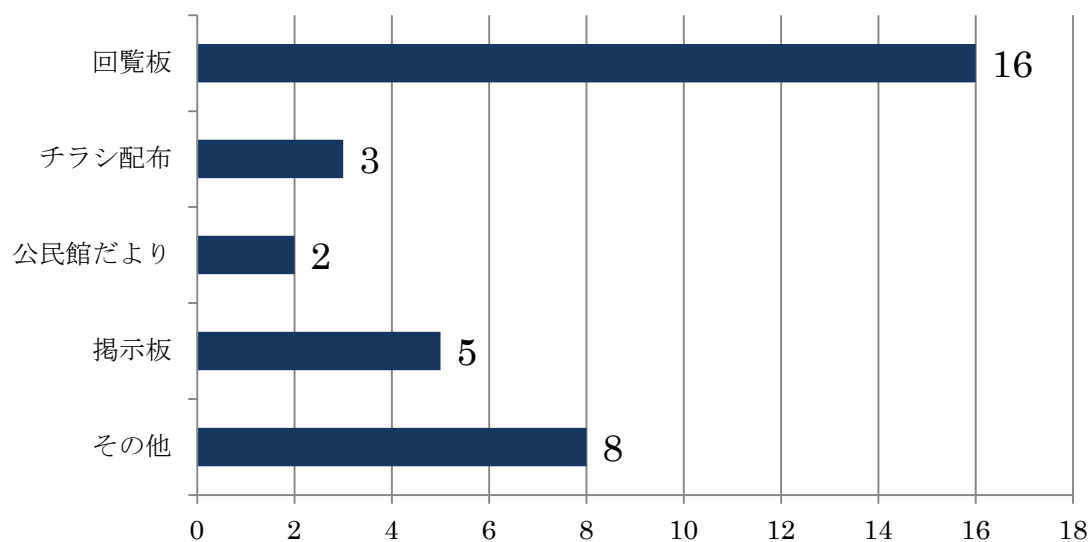


問8-1 地域住民への活動内容の周知



※未実施には途中で中止した14地域を含む

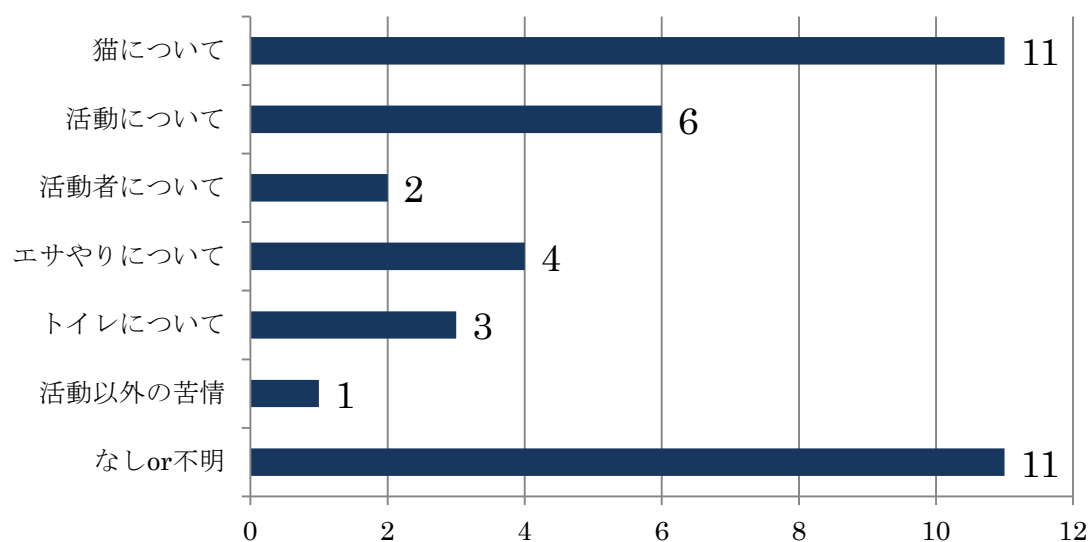
問 8-2 周知の方法



【その他の具体例】

- ・ 町内の総会や役員会での報告
- ・ ブログを開設
- ・ リーフレット作成

問 9-1, 2 寄せられた苦情



【具体例】

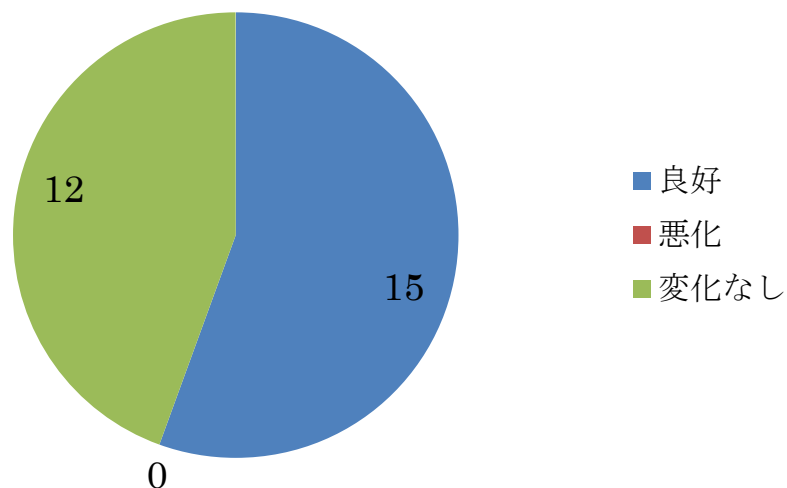
- ・ 糞尿被害, トイレのしつけについて
- ・ 物(家屋, 車など)への被害
- ・ 庭や畑への被害
- ・ 鳴き声

- ・手術後に猫を元の場所に戻すな，捕獲した猫は駆除しろ
- ・手術はしても給餌はするな
- ・保護活動家との勘違いから野良猫や子猫の保護を依頼された
- ・活動の理解が深まらない（捕獲を拒否される，手術を反対されるなど）
- ・エサやり時に不審者と勘違いされた
- ・虐待を疑う事例

【対応例】

- ・町内会長と共に説明
- ・回覧，チラシで啓発
- ・糞被害者宅を訪問し清掃活動

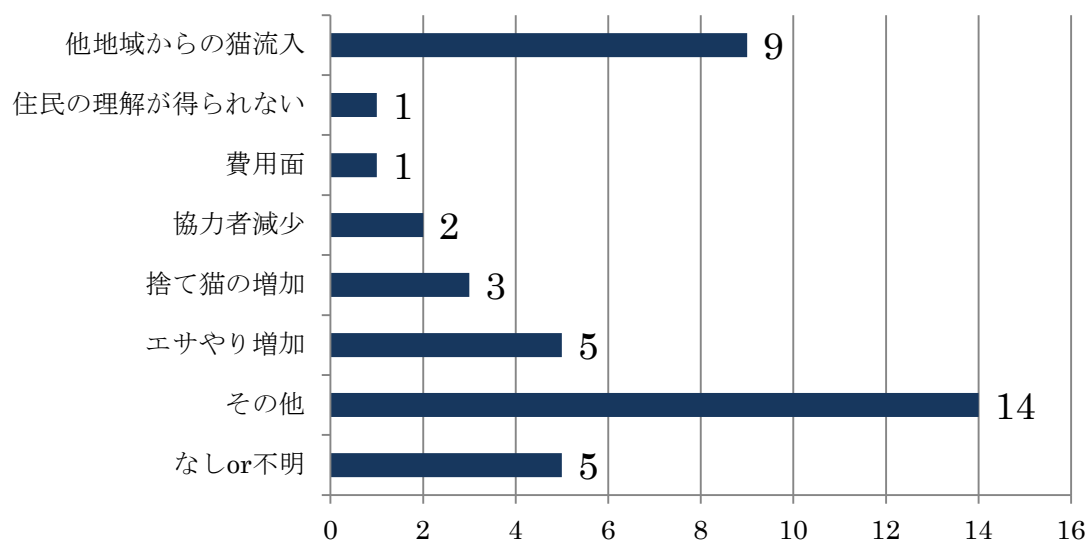
問 10-1, 2 地域とのつながり



【具体例】

- ・地域住民とのコミュニケーションが増えた
- ・野良猫への理解が深まった
- ・感謝の言葉を述べられた
- ・募金や寄付をいただいた
- ・トラブルが減少した
- ・捨て猫が減少した
- ・飼い猫への手術への理解が深まった

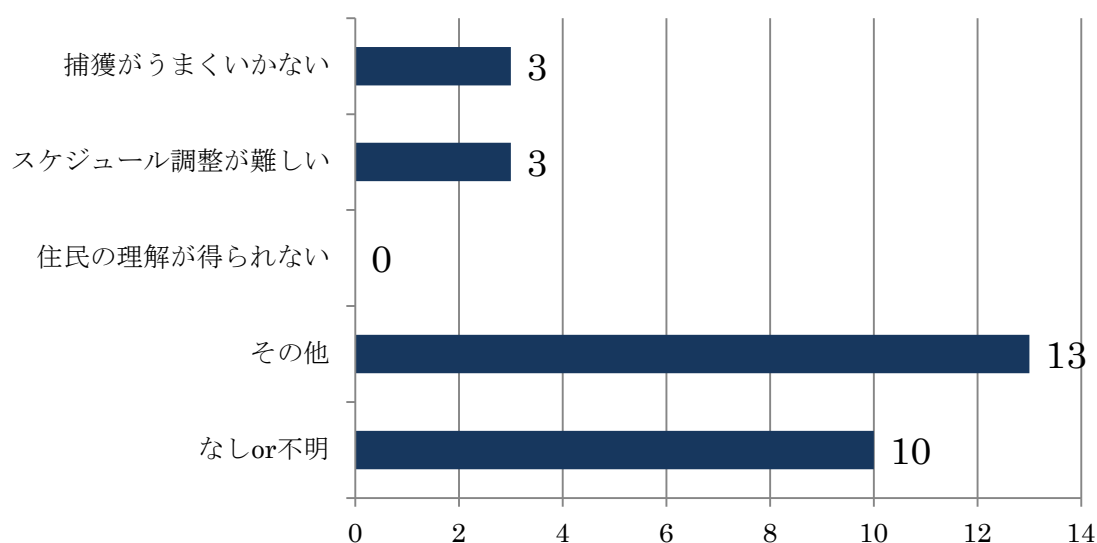
問 1 1-1, 2 現在抱えている問題



【具体例】

- ・ 飼い猫のモラル・マナーが向上しない
- ・ 他地域住民がエサやりに来る
- ・ 近隣地域へ活動が広がっていかない
- ・ 活動ボランティア数が足りない
- ・ 無責任なエサやりへ活動を理解させ、協力させるまでに至らない
- ・ 公園等の公共スペースの利用ができない
- ・ 手術反対派に活動が理解されない
- ・ 虐待を疑う事例を認める
- ・ 飼い主のいない猫が多すぎる

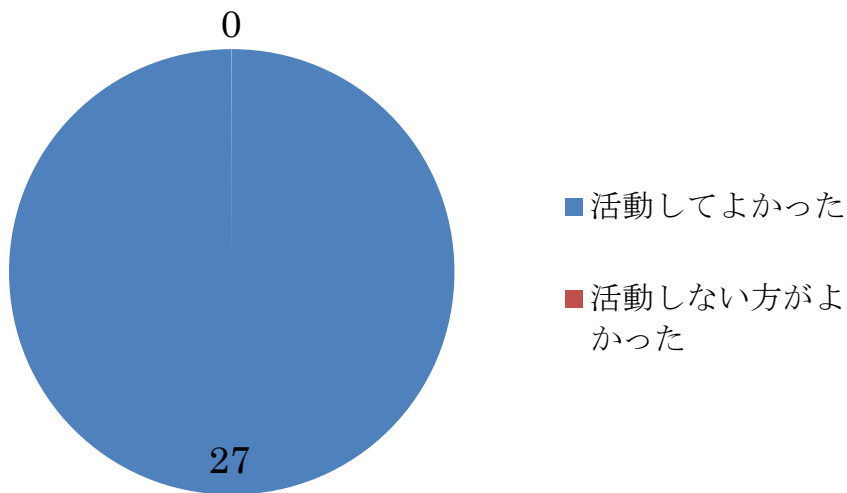
問 1 2-1, 2 活動前後での感想・ギャップ



【具体例】

- ・車の確保やセンターへの運搬が大変であった
- ・設置したトイレを利用しない
- ・手術の予約がとりにくかった
- ・捕獲を妨害されることがあった
- ・活動ボランティアが集まらなかった
- ・生き物相手なので休みがなかった
- ・センターでの猫や捕獲器の取扱いが悪かった
- ・飼育困難なペットや負傷動物の相談・保護まで依頼されるようになった
- ・無責任なエサやりからの協力をなかなか得られない
- ・深夜, 早朝の活動が大変であった
- ・活動後期に捕獲がうまくいかないことが増えた
- ・捨て猫や虐待を疑う事例が多かった

問13-1, 2 総合評価



【良かった点】

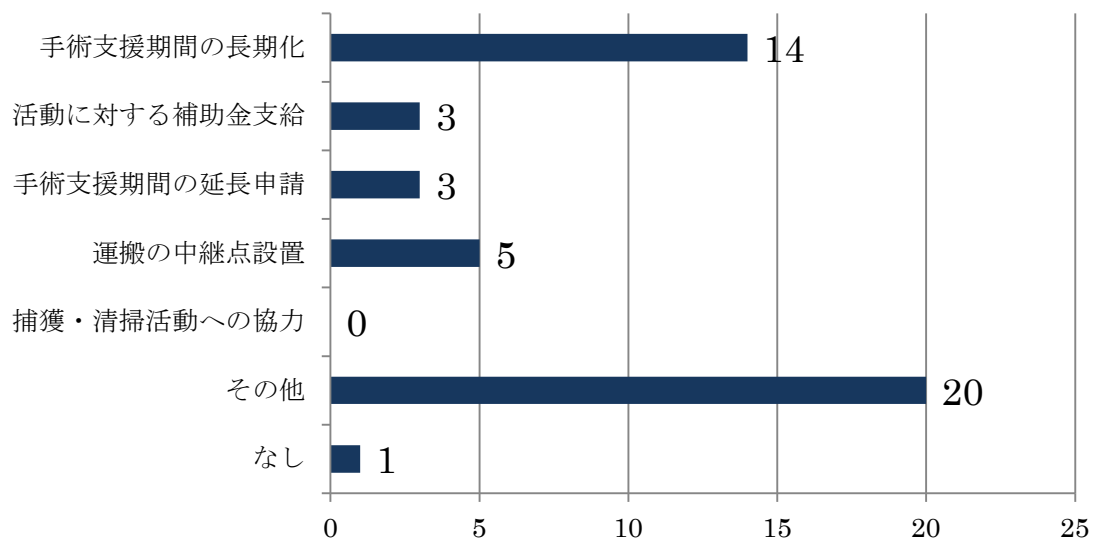
- ・猫が減った
- ・子供たちに活動の理解が広まった
- ・回覧や夜間巡回で地域とのつながりが深まった
- ・地域の相談窓口役を設置した
- ・猫の知識が増え自己研鑽になった
- ・事前に町内会と良い関係を築いていた
- ・町内美化活動や防犯パトロール時に糞処理を行った
- ・活動者以外に活動が見えるようにスタッフジャンパーを作製した
- ・猫が減少する活動であることを訴え続け、実績も伴った
- ・周知徹底により無責任なエサやりが減少した
- ・猫が嫌いな人、被害に困っている人が活動主体となった
- ・積極的に住民に声掛けし、活動に巻き込んでいった
- ・自発的に活動し、町内会には回覧等の後方支援のみを依頼した
- ・事前に協力者を多数確保しておいた
- ・活動開始前にエサやりと時間をかけて話し合いを続けた
- ・地域で起きたトラブルや苦情に真摯に対応した
- ・近隣地域へ順に拡大していった

【反省点】

- ・エサ代などの活動経費も町内会費で負担すればよかった
- ・譲渡活動を行えば良かった
- ・活動者が高齢者ばかりであった

- ・ 学生や子供会などを巻き込みたかったができなかった
- ・ 事前の準備(周知, 協力者集めなど)をしっかりとやる必要があった
- ・ 活動しながら周知しようとしたが難しかった
- ・ エサやりの人の気持ちを理解できなかった
- ・ 捕獲箱の中で猫が体調を崩した
- ・ 周知活動が足りなかった
- ・ 個体把握がしっかりできていなかった
- ・ 地域住民への積極的な声掛けができなかった

問 1 4-1, 2 支援に対する要望



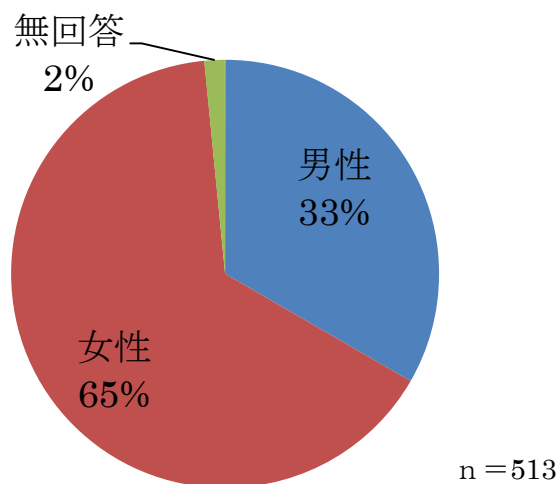
【具体例】

- ・ 市民への広報, 近隣地区へ広がりを見せるような広報など : 10 件
- ・ 近隣病院での手術受入 : 6 件
- ・ 地域猫と並列で TNR のみの支援 : 3 件
- ・ 飼い猫の飼育マナー向上への広報 : 3 件
- ・ 地域に寄り添ったフォローアップ : 3 件
- ・ 遺棄, 虐待防止への広報及び警察との連携 : 3 件
- ・ 申請地域外猫に対する手術受入
- ・ 流入猫に対する無期限手術受入
- ・ 地域猫開始要件の緩和
- ・ 地域ボランティアの育成
- ・ センター搬出入の業者委託
- ・ 捕獲器の貸し出し
- ・ 市役所内部での地域猫事業に対する連携強化

- ・手術の日帰り化
- ・条例中の猫の飼い主の順守事項を努力義務から義務化へ
- ・活動を正しく行っていた地域については手術支援を延長

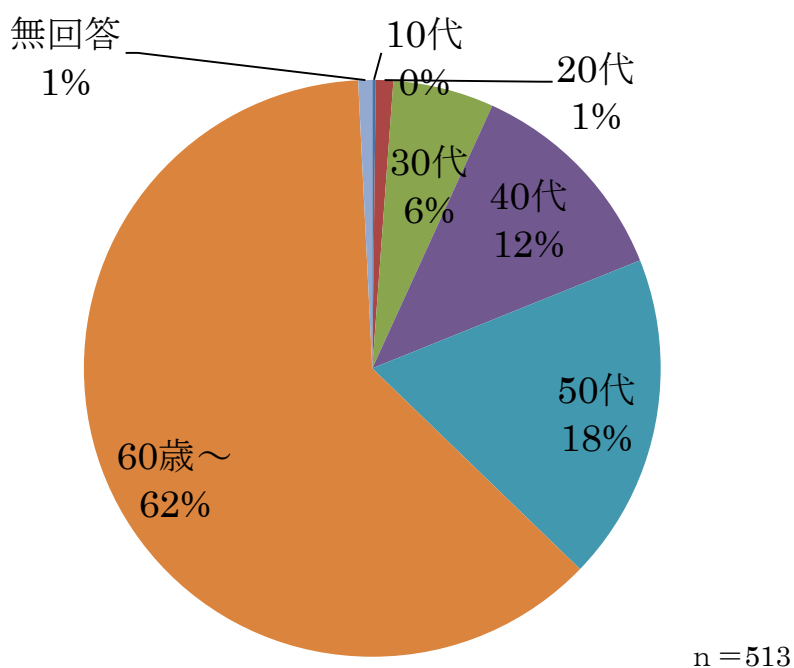
住民アンケート結果

問1 性別を教えてください。



問2 年代を教えてください。

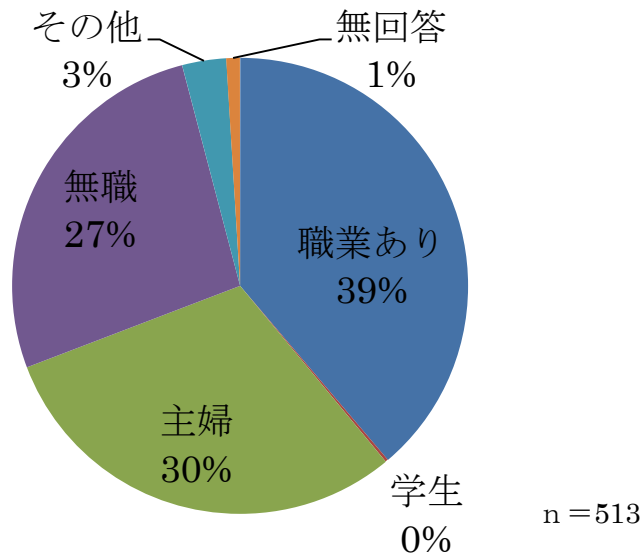
60歳以上の層が6割以上を占めており、年齢層が高いほど割合が高くなる傾向が認められた。



⇒ 問1および問2の結果から、本アンケートは「女性」、「高年齢層」が回答の主体である。

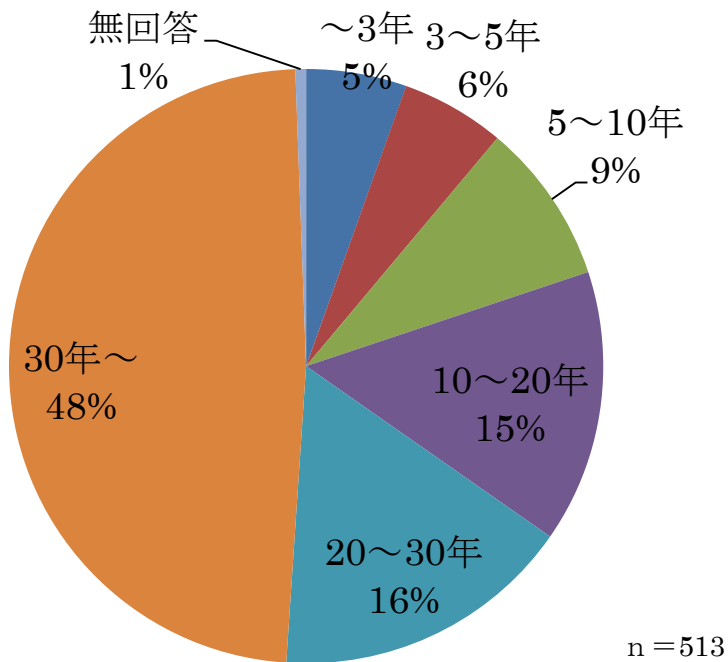
問3 職業について教えてください。

「職業あり」が39%と最も多いが、「主婦」および「無職」という在宅時間が長いと推測される層から過半数を超える57%の回答を得ている。

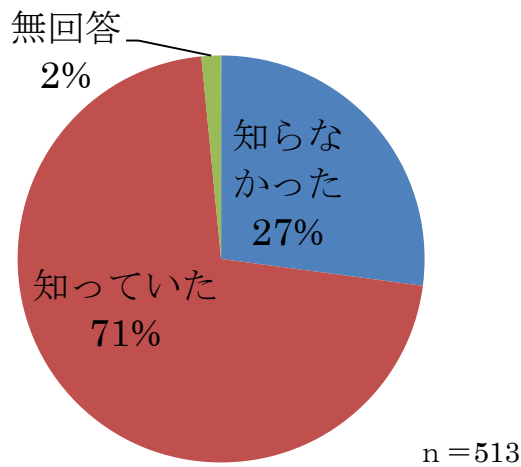


問4 居住年数を教えてください。

「30年以上」が48%と最も多く、以下「20～30年」、「10～20年」と居住年数が長いほど割合が高い傾向が認められた。

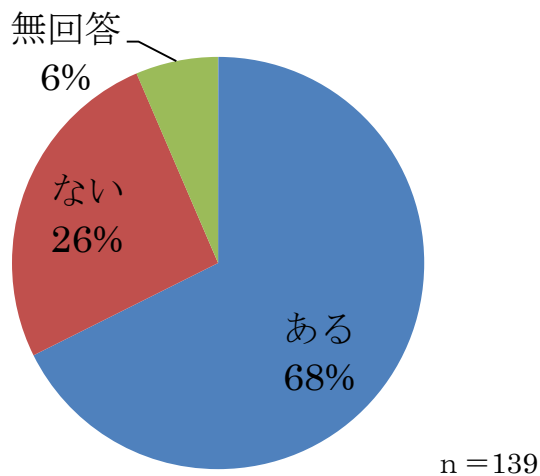


問5 お住まいの地域で地域ねこ活動が行われていることを知っていましたか。



問6～問11は問5で「知らなかった」と回答された方のみ

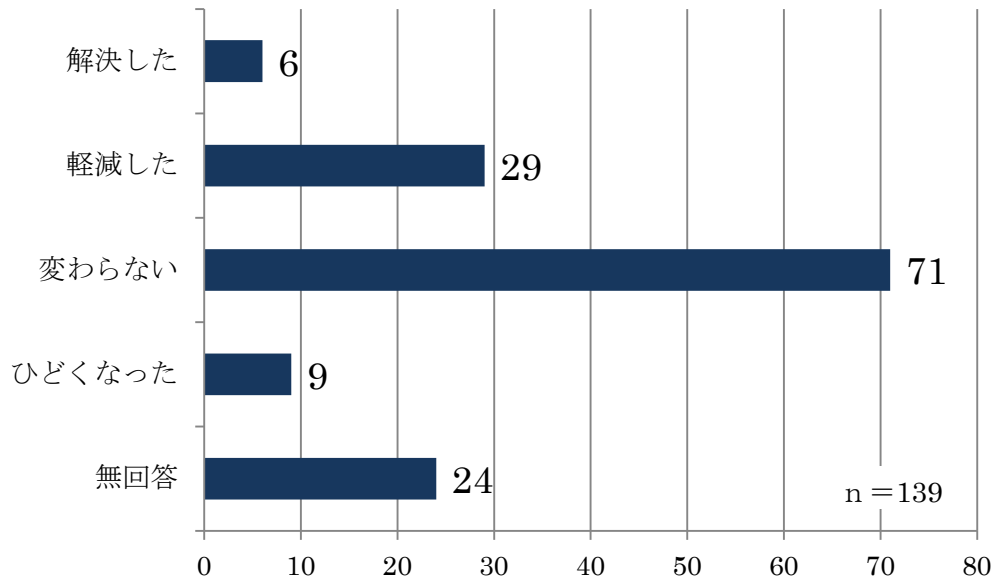
問6 地域ねこ活動が始まる以前に猫で困っていたことはありますか。



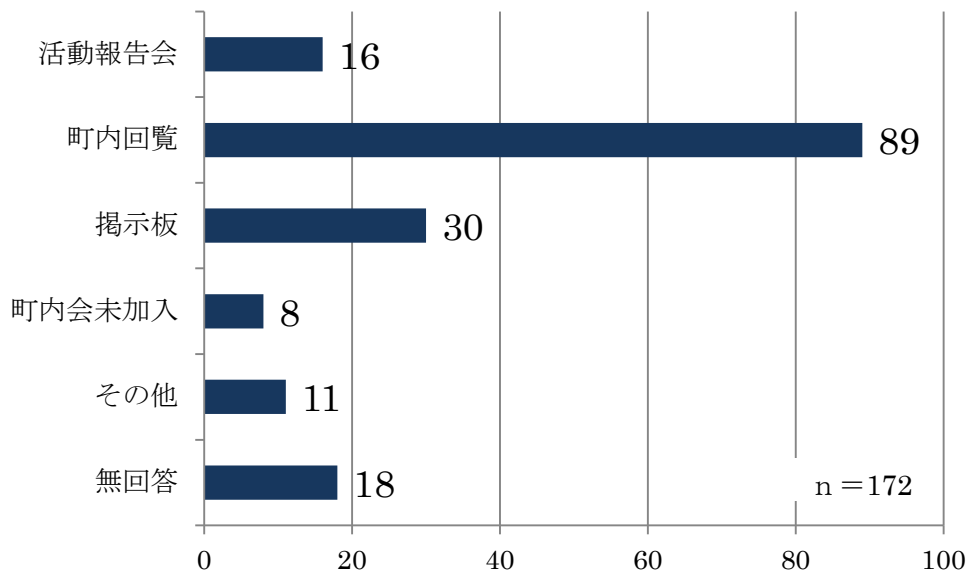
【困っていたこと具体例】

- ・糞尿被害：69件
 - ・鳴き声：14件
 - ・ごみを荒らす：12件
 - ・物（家屋，車など）への被害：8件
 - ・子猫が産まれる：7件
 - ・庭・畑などを荒らす：6件
 - ・エサやり：2件
 - ・ノミが発生した：2件
- など

問7 地域ねこ活動が始まって以降、猫の問題に変化はありましたか。



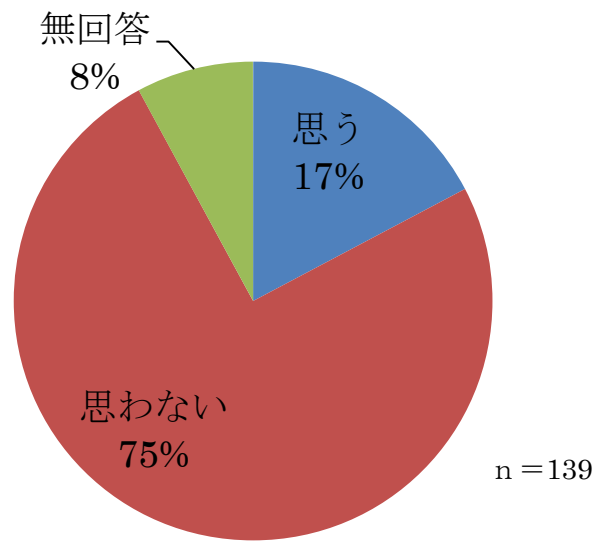
問8 お住まいの地域での活動をより広く知っていただくには何が有効だと思いますか。(複数回答あり)



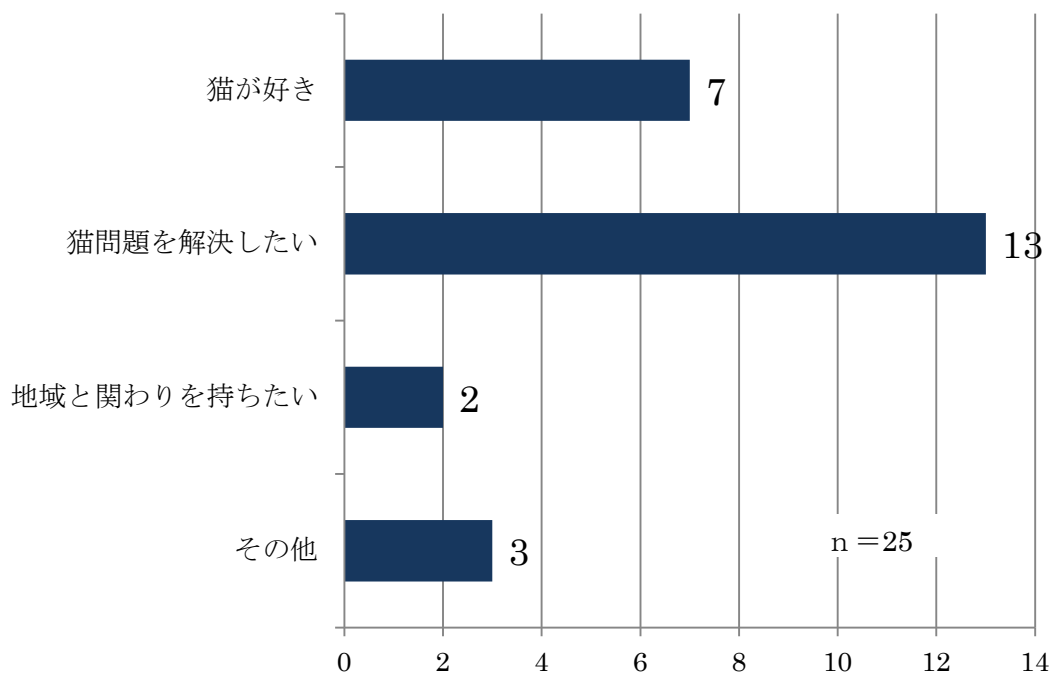
【その他の具体例】

- ・ 貼紙, ポスターの掲示
 - ・ マスメディア (新聞, テレビなど) を用いた広報
 - ・ 猫の首輪などに目印をつける
 - ・ 市政だよりでの広報
 - ・ フリーペーパーへの掲載
- など

問9 今後、地域ねこ活動に参加したいと思いますか。



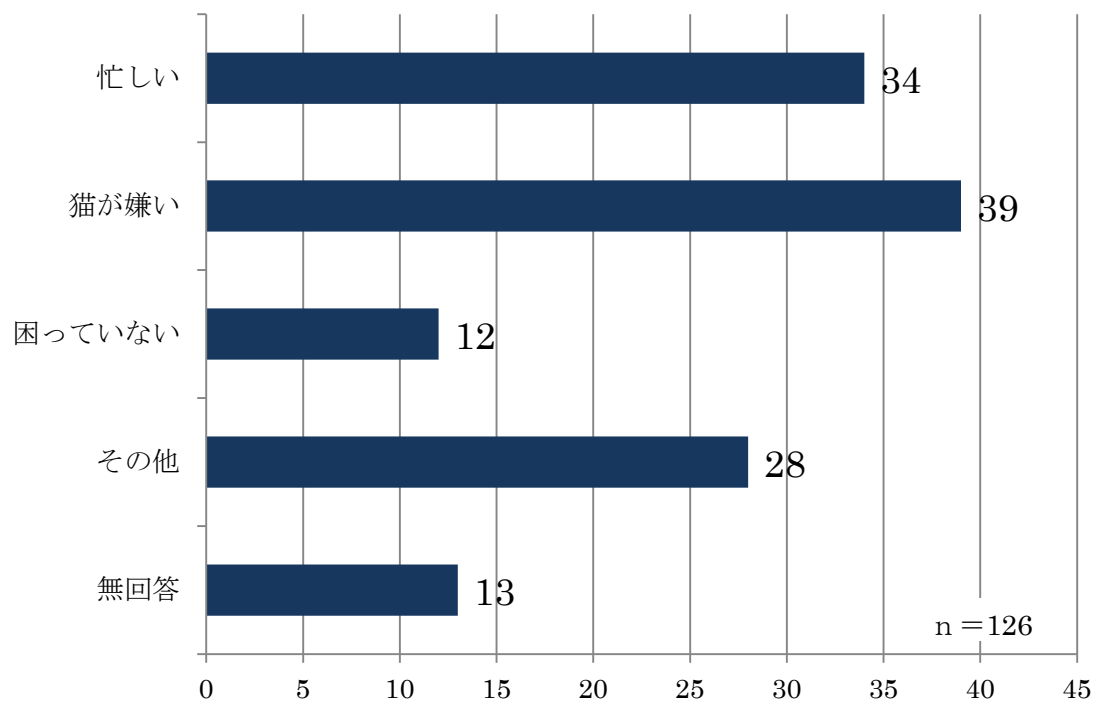
問10 参加したい理由は何ですか。(複数回答あり)



【その他の具体例】

- ・猫の問題が解決した今の状態を保ちたい
- ・里親を探したい
- ・協力を求められれば参加したい など

問11 参加したくない理由は何ですか。(複数回答あり)

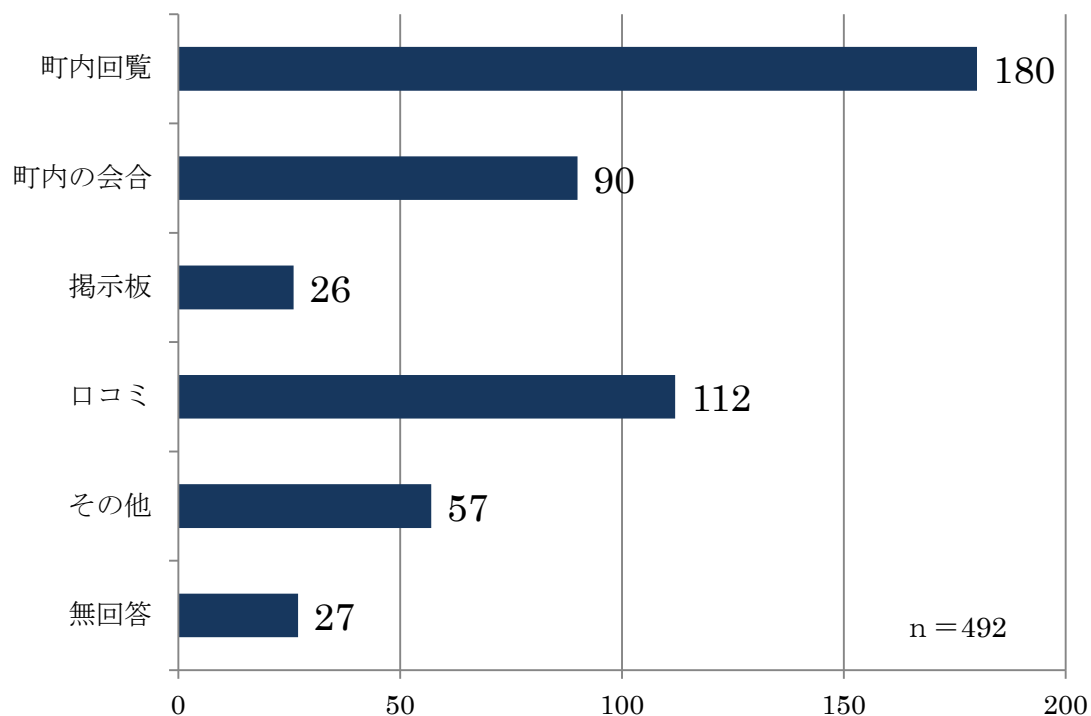


【その他の具体例】

- ・ 活動の効果に疑問を感じている
- ・ より猫が増えそう
- ・ 自宅でペットを飼育している
- ・ 無責任な猫好きと一緒にされたくない
- ・ 協力方法がわからない
- ・ 活動費用が掛かりそう
- ・ 猫が嫌いではないがさわれない
- ・ 高齢, 病気療養中, アレルギーがある など

問6～問11は問5で「知っていた」と回答された方のみ

問12 地域ねこ活動を何で知りましたか。(複数回答可)

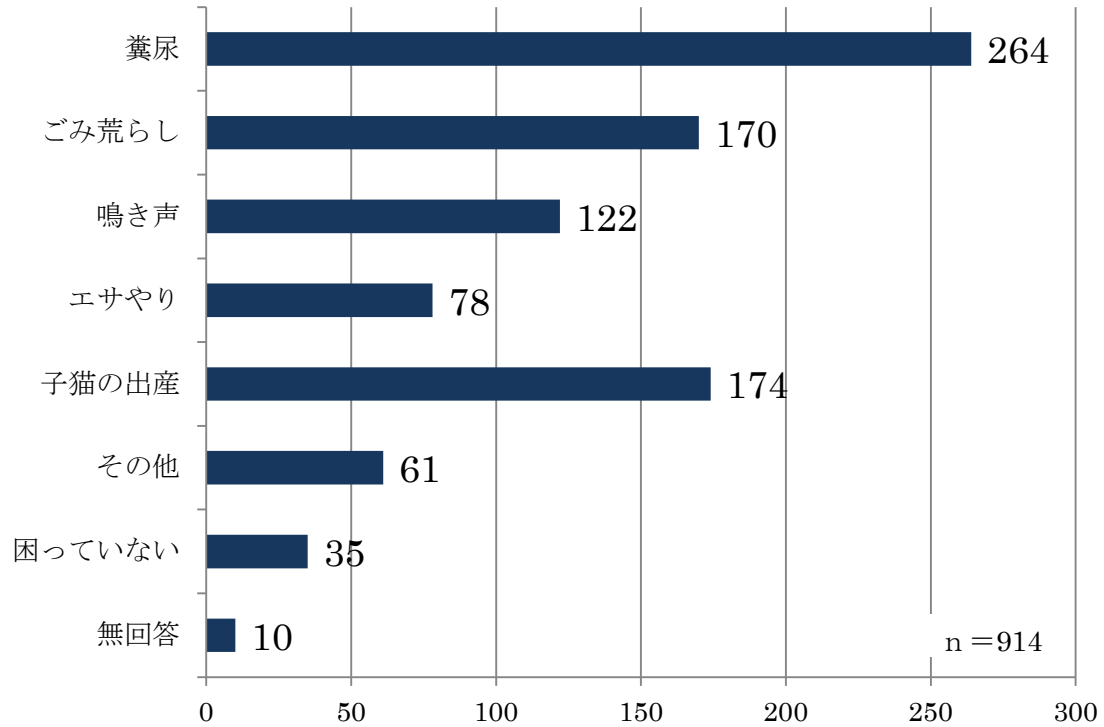


【その他の具体例】

- ・ 知人が活動者である
- ・ 活動現場が近所にある
- ・ 耳カットをしている猫を見た
- ・ 掲示物を見た
- ・ 公民館だより
- ・ 動物関係団体を介して知った
- ・ 猫による被害を被り、センターに電話して知った
- ・ 町内役員から報告を受けた

など

問 13 地域ねこ活動が始まる前に猫について困っていたことはなんですか。(複数回答可)

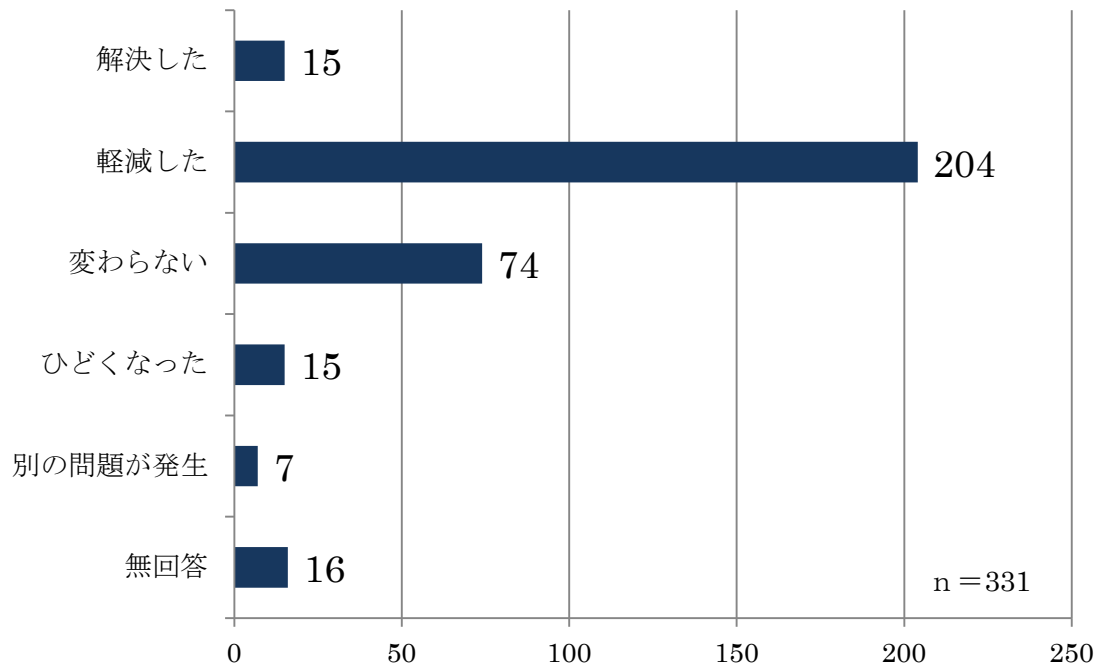


【その他の具体例】

- ・ 家屋など敷地への侵入：12 件
- ・ 物（家屋，車など）への被害：10 件
- ・ 庭・畑などを荒らす：10 件
- ・ ノミが発生した：5 件
- ・ ペット（小鳥，金魚など）への被害：3 件
- ・ 死体の処理：3 件
- ・ エサやり用トレイ，缶などの放置：2 件
- ・ エサやりの敷地内への侵入：2 件
- ・ 道路への飛び出し：2 件

など

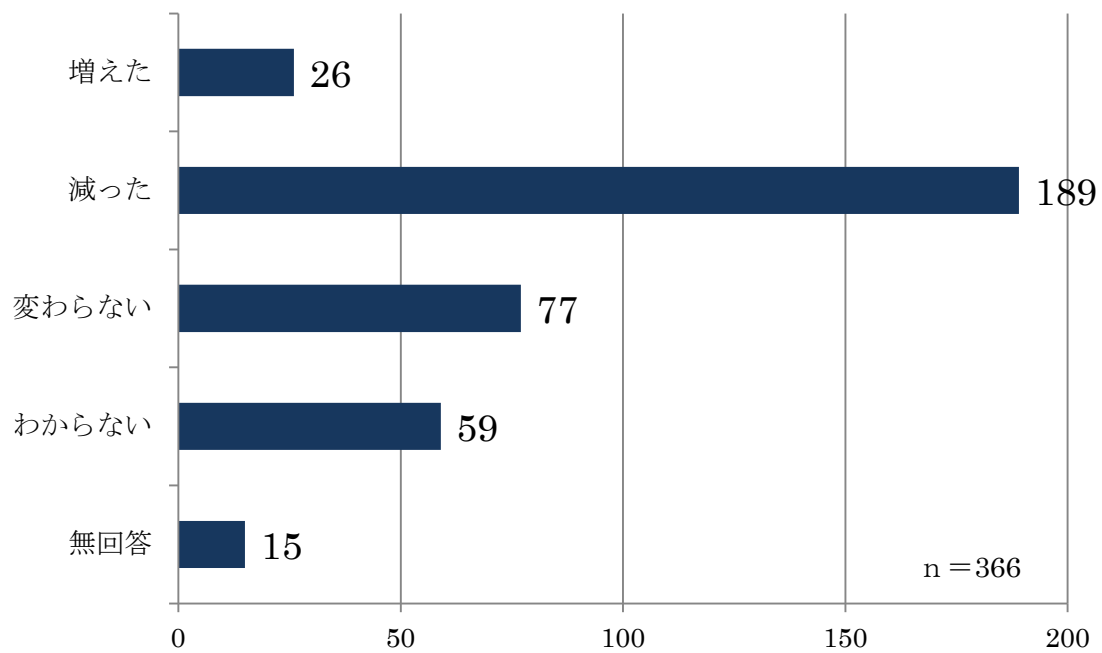
問 14 地域ねこ活動が始まってから問 13 の問題は変わりましたか。



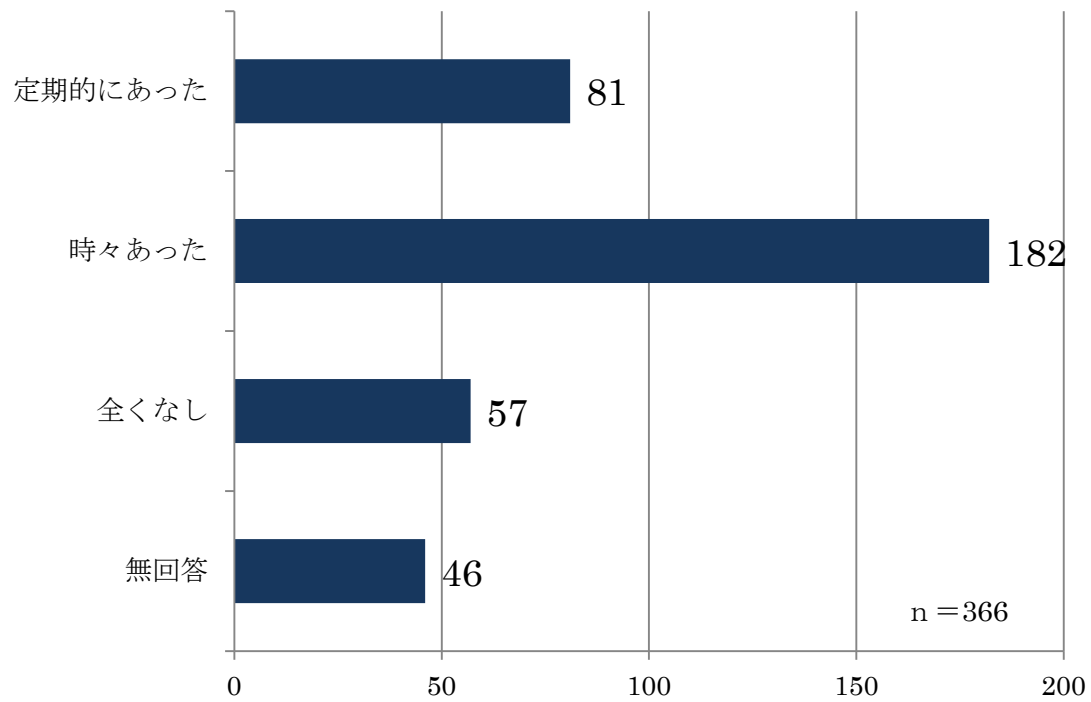
【別の問題が発生の具体例】

- ・ エサ場が近所に設置され、糞尿の被害が始まった
- ・ 活動を理解しない人との間で争いが生じた

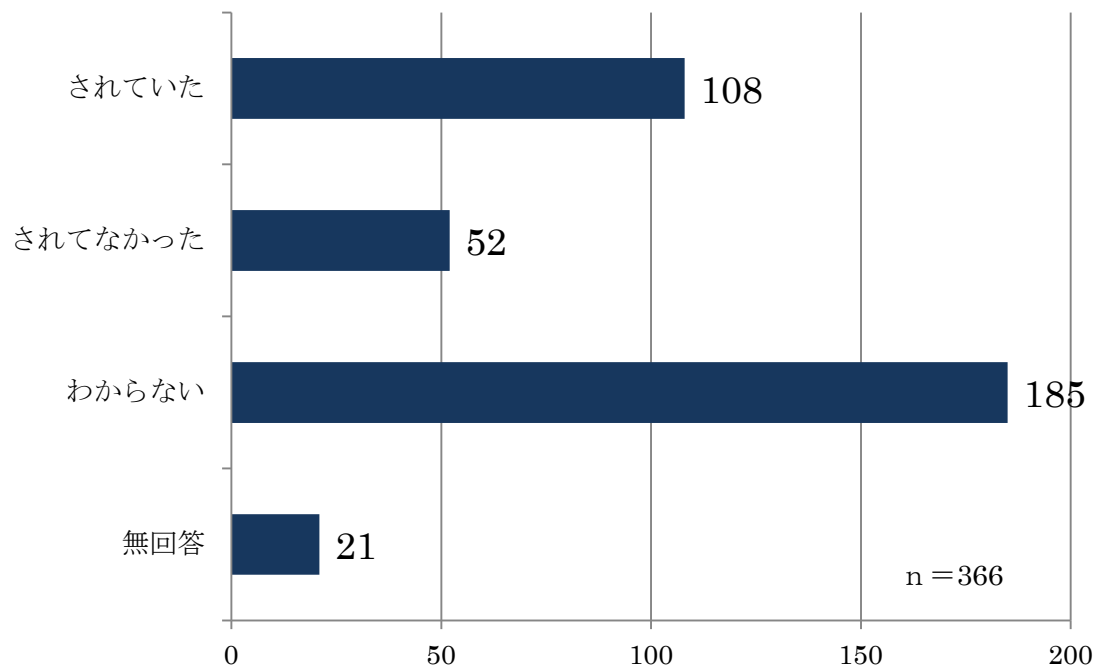
問 15 地域内の野良猫の数はどうなりましたか。



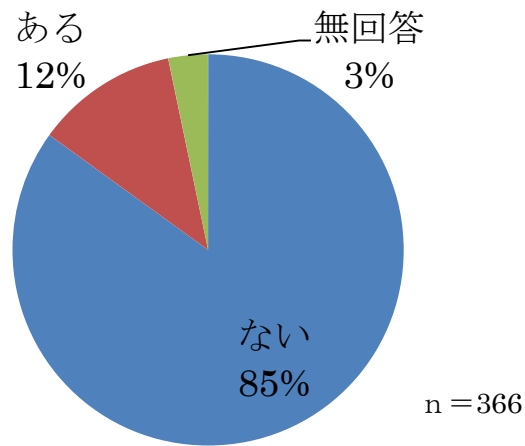
問 16 回覧等で地域ねこ活動の活動報告はありましたか。



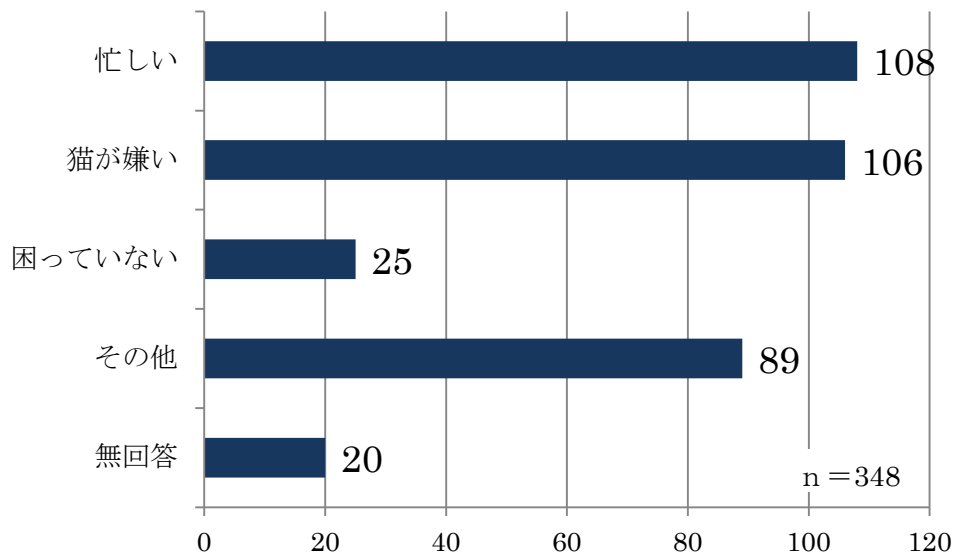
問 17 地域ねこ活動で、エサやトイレの管理はされていきましたか。



問 18 地域ねこ活動に参加したことはありますか。



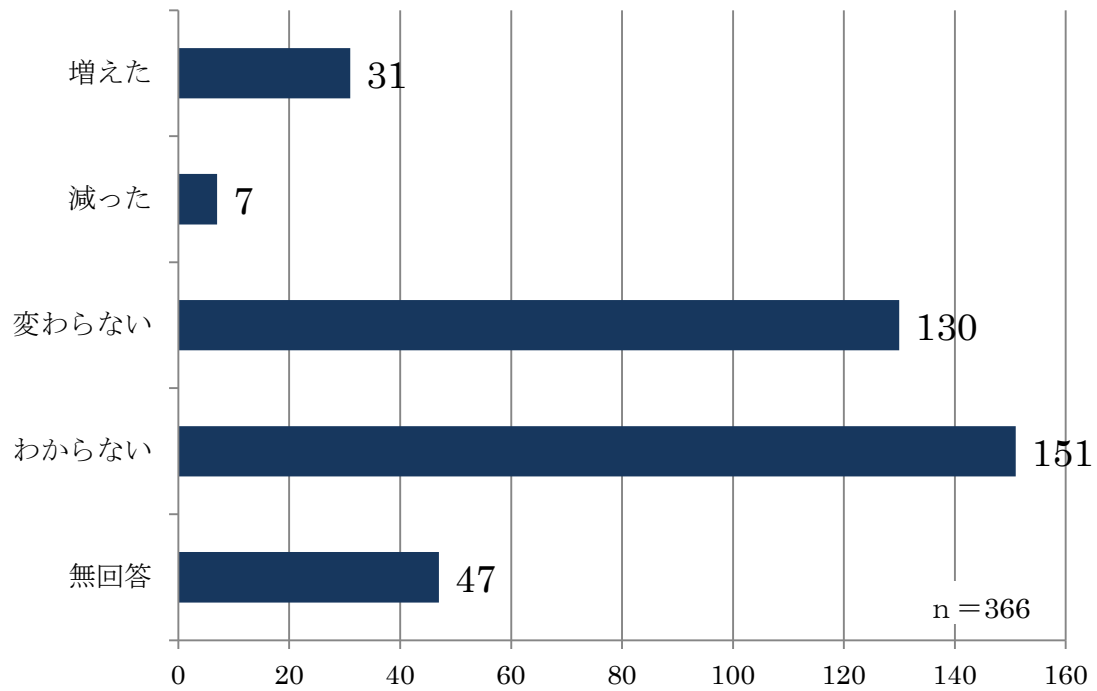
問 19 参加しなかった理由は何ですか。(複数回答あり)



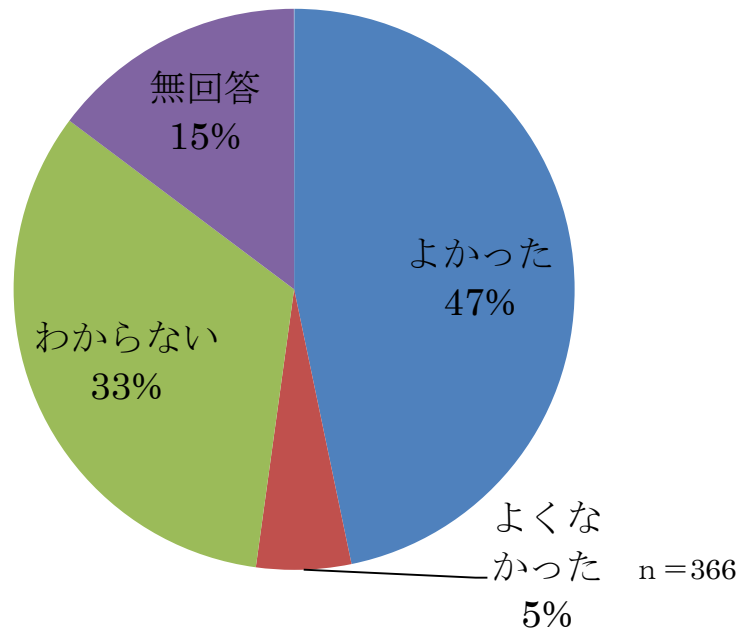
【その他の具体例】

- ・ 活動を知らなかった
- ・ 協力依頼がなかった
- ・ 効果がないと考えている
- ・ 活動に賛同していない
- ・ 活動の必要性がわからない
- ・ 運搬や費用工面など負担が大きいため
- ・ 給餌しないことが最善策と考えている
- ・ 高齢, 病気療養中, アレルギー など

問 20 地域ねこ活動により地域住民どうしのつながりはどうなりましたか。



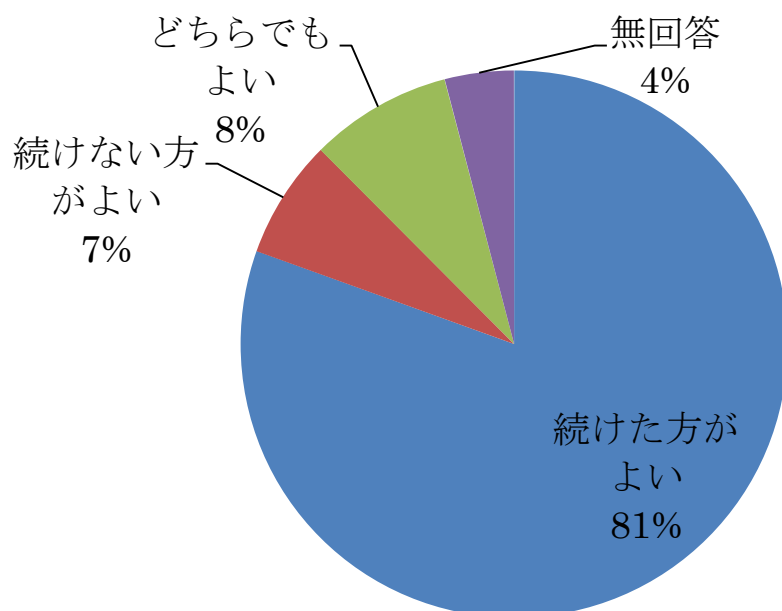
問 21 地域で地域ねこ活動に取り組んでよかったですか。



⇒理由については「ご意見」の欄で記載

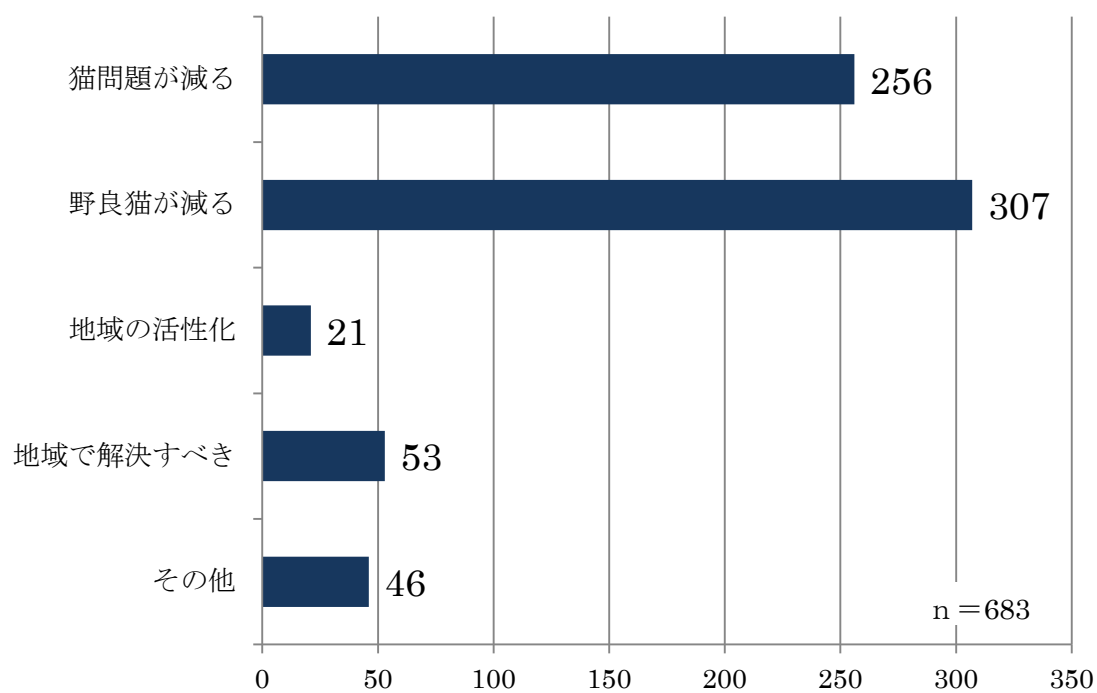
以下、全員への質問

問 22 今後もお住まいの地域で地域ねこ活動を続けたほうがよいと思いますか。



n = 513

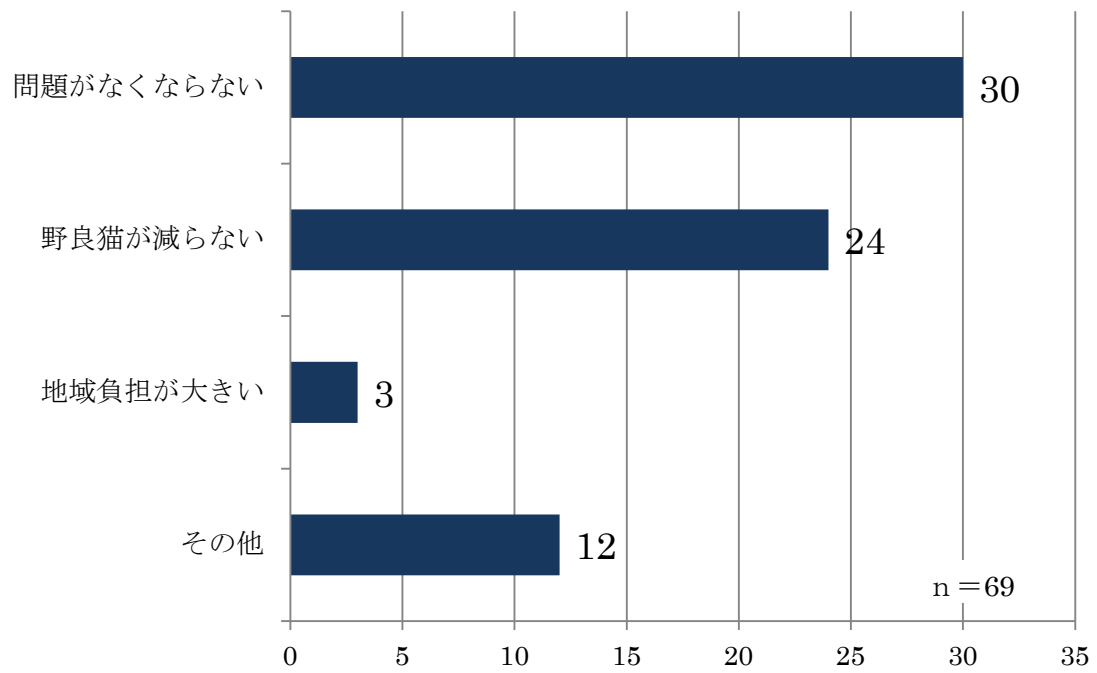
問 23 続けたほうがよいと思う理由はなんですか。(複数回答あり)



n = 683

⇒その他については「ご意見」の欄で記載

問 24 続けられないほうがよいと思う理由はなんですか。(複数回答あり)



⇒その他については「ご意見」の欄で記載

【ご意見】

《賛成・肯定的意見》

- ・猫の問題（糞尿被害、ごみ荒らし、子猫の出産など）が軽減した
- ・活動を始めて猫の数が減った
- ・虐待を疑う事例が減少した
- ・人と動物との共生について考えるいい機会である
- ・殺処分の減少につながると思う
- ・飼い主のモラル・マナーの向上につながった
- ・捨て猫を疑う事例が減少した
- ・活動者は大変な苦勞をされていると思う。感謝している
- ・短期間で結果が出る活動ではないので継続してほしい
- ・以前は給餌をしたらほったらかしの状態だったので、管理したほうが良い
- ・ボランティアを中心に活動し、あまりお金をかけるべきではない
- ・続ける場合も活動場所（エサ場、トイレ場）を住宅と隣接しない場所に変更するなどの再考が必要
- ・人と猫との共生社会に進んで行っていると思う
- ・活動を介して近所の方とのコミュニケーションが増えた
- ・現在これ以外の対応方法がないから
- ・無責任なエサやりが少なくなった
- ・飼い猫、野良猫についての意識が高まった
- ・活動者は責任を持ってルールを守る必要がある
- ・活動者はスタッフTシャツを着用するなど簡単にわかるようにしたほうが良い
- ・活動資金が必要であれば寄付してもよい
- ・募金箱を集会など人が集まり時に設置したり、回覧で募金を集めてはどうか

《反対・否定的意見》

- ・無責任なエサやりと口論になり、人間関係が損なわれた
- ・定期的に給餌するので他地域からも猫が来るようになった
- ・猫が余計に増え以前よりも被害はひどくなった
- ・一部の無責任なエサやりが増やす猫のために税金を使うのはもったのほか
- ・以前のように市で回収・処分してほしい
- ・エサやり個人のモラルの問題である
- ・動物保護もわかるが、野良猫は害を発生するばかりなので処分すべき
- ・地域住民のお金で猫が増え、地域住民が困っている
- ・手術のみで餌をやる必要はない
- ・給餌するので長生きする

- ・地域猫はボランティア宅で飼育管理し、放し飼いにしないでほしい
- ・一部の人がエサやりを楽しんでいるようにしか思えない。糞尿の管理が徹底できないのであればやめてほしい
- ・給餌して野放しにしている。エサをやるなら管理を徹底してもらいたい
- ・命あるものなので自然な状態にしておくのが望ましい
- ・地域に関心のない学生やマンション住まいの人たちが活動を理解せずエサやりをしている
- ・活動場所の周辺は迷惑なことも起きている。場所の使用許可が出れば良いのではなく、近隣住民への説明・理解を得てから使用する必要があると思う
- ・存在そのものに困っている。完全に管理できないので被害が軽減しない
- ・活動されていると思えないほど被害がひどい。効果が出ないことに費用をかけ続けるのはもったいない

《中間的意見》

- ・給餌するので長生きする
- ・長期間継続しないと望む効果は得られないと思うので、費用対効果の裏付けが必要
- ・活動が見えてこないなので、回覧等で活動報告を行ってほしい
- ・住宅地にエサ場を設置すると近隣が迷惑するため、公園などで行ってほしい
- ・エサを与える人は自己の満足感のために周囲の迷惑は考えていない。本当に猫が好きなら中途半端なことはやめてほしい
- ・殺処分より良いと思うが、無理やり不妊・去勢手術を施すことに抵抗がある
- ・行政は何をしているのか。何でもボランティア任せは良くない
- ・本当に問題が軽減するのなら続けた方が良いが、現状問題は解決せず、猫を保護していることに対し迷惑とさえ感じている
- ・活動開始前の集会在りきで困っている意見を聞き入れるような場所ではなく、活動ありきの集まりであった。これで地域住民の賛同を得ていると言えるのか

《その他意見》

- ・飼い猫の飼育方法（屋内飼育の徹底、トイレのしつけなど）のモラル・マナーの向上を行ってほしい
- ・無責任なエサやりへの指導・罰則を強化してほしい
- ・公園でのエサやり行為を禁止してほしい
- ・飼い猫にも登録制度の導入とマイクロチップの義務化をしてほしい
- ・住民アンケートを今までなぜとっていなかったのか
- ・生体販売時にチップを埋めて、販売者と購入者で責任を持つ

- ・ 飼い猫は室内飼育をする，屋外ではリードを付けるなど他人への迷惑をかけるような条例を作してほしい

地域猫現況調査票

○指定地域名：_____

○指定決定日：平成____年____月____日

○手術支援期間：平成____年____月____日～平成____年____月____日

○対応者：_____（役割：_____）

_____（役割：_____）

【活動状況について】

続いている

終了した（終了判断の目安：_____）

自然消滅（理由：_____）

その他（理由：_____）

【活動当初の目的】

【現在管理している猫の頭数】

・手術済頭数：_____頭（♂：____，♀：____）

・未手術頭数：_____頭（♂：____，♀：____）

○当初手術予定頭数に満たなかった理由

猫が捕まらなかった 猫がいなくなった 自費で手術を行った

その他（_____）

・猫の数（当初より）：減った ・ 増えた ・ わからない

・他地区からの流入：_____頭（♂：____，♀：____）うち手術済頭数_____頭

【譲渡活動について】

あり（方法：_____，実績：_____頭，広報媒体：_____）

なし（当初より予定なし ・ 以前は行っていた（終了理由：_____））

【活動経費について】

- 募金活動・フリーマーケット等（実施頻度：_____回/_____）
- 町内会費助成（助成額：_____円）
- 物資（エサ・トイレなど）の寄付のみ
- 活動者自費

【トイレ・エサ場の管理】

トイレ	1	2	3
場所			
回数			
猫の数			
担当者			

エサ場	1	2	3
場所			
回数			
猫の数			
餌の量			
担当者			

※置き餌（あり・なし）

- ・トイレの数（当初より）： 減った ・ 増えた ・ 変化なし
- ・エサ場の数（当初より）： 減った ・ 増えた ・ 変化なし

○問題点, 上記理由など

【活動者について】

- 活動当初：_____名
- 増えた（理由：_____）
 - 減った（理由：_____）
 - 変わらない

【地域住民への活動内容の周知】

- 実施
- 未実施（活動当初から ・ 途中で中止（理由：_____））

方法	回覧板	チラシ配布	公民館だより	掲示板	その他
周知頻度					

【寄せられた苦情】

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 猫について | <input type="checkbox"/> 活動について |
| <input type="checkbox"/> 活動者について | <input type="checkbox"/> エサやりについて |
| <input type="checkbox"/> トイレについて | <input type="checkbox"/> 活動以外の苦情 |

○具体的に

○対応方法

【地域とのつながり】

- 良好
 悪化
 変化なし

○具体的にどのように変化したか

【現在抱えている問題】

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 他地域からの猫の流入 | <input type="checkbox"/> 住民から理解が得られない（要理由） |
| <input type="checkbox"/> 費用面 | <input type="checkbox"/> 協力者の減少 |
| <input type="checkbox"/> 捨て猫の増加 | <input type="checkbox"/> エサやりの増加（地域住民・他地域住民）
→活動への協力依頼（あり・なし） |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

○具体的に

【活動前後での感想・ギャップ】

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 捕獲がうまくいかない | <input type="checkbox"/> 協力者のスケジュール調整がむずかしい |
| <input type="checkbox"/> 住民の理解が十分に得られない | <input type="checkbox"/> その他 |

○具体的に

【総合評価】 / 100点

- 活動して良かった
 活動しないほうが良かった（理由：）

○実施して良かった取組など良かった点

○活動に足りなかったことなど反省点

【支援に対する要望】

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 手術支援期間の長期化 | <input type="checkbox"/> 活動に対する補助金の支給 |
| <input type="checkbox"/> 手術支援期間の延長申請 | <input type="checkbox"/> 運搬の中継点の設置 |
| <input type="checkbox"/> 捕獲・清掃活動への協力 | <input type="checkbox"/> その他 |

○アドバイス事項

○メモ欄

地域ねこ活動に関する住民アンケート

福岡市では平成 21 年度から飼い主のいない猫が起す問題の解決策のひとつとして「地域ねこ活動」を推進しています。

お住まいの地域でも 平成 24 年 10 月 から地域ねこ活動に取り組み、福岡市では 1 年間、飼い主のいない猫の不妊去勢手術を無償で実施するなどの支援を行いました。

このたびセンターでは、地域ねこ活動へのより良い支援のあり方を検討するため、地域ねこ活動に取り組みされた地域の皆様に、これまでの活動に関する調査を行うことといたしました。つきましては、大変お手数ですがアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

なお、今回の調査対象は、無作為抽出によるもので、調査は匿名で行い、ご回答いただいた内容など個人の秘密の保持には十分配慮いたします。

地域ねこ活動とは

周辺住民の理解を得たうえで、地域のボランティアグループなどが、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施し、トイレやエサやりの管理など一定のルールに従い活動することで、飼い主のいない猫による糞尿被害や地域住民間のトラブルの解決を図っていくものです。

各項目のあてはまる番号を○で囲んでください。

問 1 性別を教えてください。 1. 男性 2. 女性

問 2 年代を教えてください。

1. 10 代 2. 20 代 3. 30 代 4. 40 代 5. 50 代 6. 60 歳以上

問 3 職業について教えてください。

1. 職業あり 2. 学生 3. 主婦 4. 無職 5. その他

問 4 居住年数を教えてください。

1. 3 年未満 2. 3～5 年未満 3. 5～10 年未満 4. 10～20 年未満
5. 20～30 年未満 6. 30 年以上

問 5 お住まいの地域で地域ねこ活動が行われていることを知っていましたか。

1. 知らなかった ⇒ 問 6 へ
2. 知っていた ⇒ 問 12 へ

以下、問5で「1. 知らなかった」と回答された方のみ問6～問11へお答えください。

問6 地域ねこ活動が始まる以前に猫で困っていたことはありますか。

1. ある（具体的に：) 2. ない

問7 地域ねこ活動が始まって以降、猫の問題に変化はありましたか。

1. 解決した 2. 軽減した 3. 変わらない 4. ひどくなった

問8 お住まいの地域での活動をより広く知っていただくには何が有効だと思いますか。

1. 公民館等での活動報告会
2. 活動報告書の町内回覧
3. 活動報告書の地域掲示板への掲示
4. 町内会に加入していないのでわからない
5. その他（具体的に：)

問9 今後、地域ねこ活動に参加したいと思いませんか。

1. 思う ⇒ 問10へ
2. 思わない ⇒ 問11へ

問10 参加したい理由は何ですか。

1. 猫が好きだから 2. 猫の問題に困っており解決したいから
3. 地域との関わりを持ちたいから
4. その他（具体的に：)

⇒ 問22へお進みください。

問11 参加したくない理由は何ですか。

1. 忙しいから 2. 猫が嫌いだから 3. 猫で困っていないから
4. その他（具体的に：)

⇒ 問22へお進みください。

以下、問5で「2. 知っていた」と回答された方のみ問12～問21お答えください。

問12 地域ねこ活動を何で知りましたか。（複数回答可）

1. 町内回覧 2. 町内の会合 3. 掲示板 4. 口コミ
5. その他（具体的に：)

問 13 地域ねこ活動が始まる前に猫について困っていたことはなんですか。

(複数回答可)

1. 糞尿
2. ごみ荒らし
3. 鳴き声
4. エサやり
5. 子猫の出産
6. その他(具体的に:)
7. 困っていたことはない ⇒ 問 15 へ

問 14 地域ねこ活動が始まってから問 13 の問題は変わりましたか。

1. 解決した
2. 軽減した
3. 変わらない
4. ひどくなった
5. 別の問題が発生した(具体的に:)

問 15 地域内の野良猫の数はどうなりましたか。

1. 増えた
2. 減った
3. 変わらない
4. わからない

問 16 回覧等で地域ねこ活動の活動報告はありましたか。

1. 定期的にあった
2. 時々あった
3. 全くなかった

問 17 地域ねこ活動で、エサやトイレの管理はされていきましたか。

1. されていた
2. されていなかった
3. わからない

問 18 地域ねこ活動に参加したことはありますか。

1. ない ⇒ 問 19 へ
2. ある ⇒ 問 20 へ

問 19 参加しなかった理由は何ですか。

1. 忙しいから
2. 猫が嫌いだから
3. 猫で困っていないから
4. その他(具体的に:)

問 20 地域ねこ活動により地域住民どうしのつながりはどうなりましたか。

1. 増えた
2. 減った
3. 変わらない
4. わからない

問 21 地域で地域ねこ活動に取り組んでよかったと思いますか。

1. よかった
 2. よくなかった
 3. わからない
- 理由 ()

⇒ 問 22 へお進みください。

以下、すべての方にお聞きします。

問 22 今後もお住まいの地域で地域ねこ活動を続けたほうがよいと思いますか。

1. 続けたほうがよい ⇒ 問 23 へ
2. 続けないほうがよい ⇒ 問 24 へ
3. どちらでもよい

問 23 続けたほうがよいと思う理由はなんですか。

1. 糞尿などの猫問題が減るから
2. 野良猫が減るから
3. 地域コミュニティが活性化するから
4. 地域の問題は地域で解決すべきだから
5. その他（具体的に： _____）

問 24 続けないほうがよいと思う理由はなんですか。

1. 糞尿などの猫問題がなくなるから
2. 野良猫が減らないから
3. 地域の負担が大きいため
4. その他（具体的に： _____）

これですべての質問が終わりました。お忙しいところ調査にご協力いただきありがとうございました。

いま一度、記入漏れや、記入間違いがないかお確かめのうえ、同封の返信用封筒に入れてご返送下さい。

お問い合わせ先

福岡市家庭動物啓発センター

TEL : 092-891-1231

FAX : 092-891-1259